



2016年度本科卒業生 澁谷春佳 (No.285)

私が卒業を目指すきっかけとなったのはE2の時の発表会で卒業生の踊りを見たことです。先生に卒業するかどうが一番最初に尋ねられた時、私は自分が卒業なんかできるわけがないと思っていました。でも杏映先生の「絶対に卒業できるから」という一言で卒業を決心しました。E3になると週に5回のレッスンで毎日が本当に忙しく息を着く暇もありませんでした。更にパートナーリングが始まると自分が基礎さえできていないと痛感し落ち込みました。他人と比べるのはいいけないと思っていながらもやはり他人と自分とを見比べて自分の踊りに自信が持てませんでした。ただ杏映先生に「あなたの踊りが大好き」と言っていただき自分の踊りを整理して先生方に感謝を込めて卒業を迎えたいと強く思いました。本番では一番舞台を楽しみ感謝を込めて踊りきる事が出来て人生で最も幸せな瞬間でした。4年前あなたたく迎え入れてくださった喜久子先生を始めとする諸先生方、有家先生、旭先生、杏映先生、卒業生の皆、E1・2の皆、先輩方、お父さん、お母さん、父母の会の皆様、私に関わってくれた全ての人に感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。

【母より】

宮下バレエに移って早4年の月日が経ちました。この度、このような素晴らしい卒業の舞台に立たせていただき感無量です。宮下バレエでは、団公演に出させて頂いたり、特別レッスンを受けさせていただく等、今までになかった経験をさせていただきました。団公演では、バレエの奥深さを学びプロの厳しさ、表現の難しさ、踊る楽しさを味わうことができました。又、宮下バレエでは、喜久子先生を始めとする諸先生方から常に「心」を大切にすることをご指導いただきました。バレエの技術だけでなく人間として最も大切なものを教えて頂いたように思います。4年間という短い間でしたが、今までの何倍も内容の濃い充実した4年間だったと思います。卒業間近の数ヶ月、精神的にも肉体的にもとても辛かった時期、暖かく見守り励まし支えてくださいました杏映先生、パートナーの旭先生、本当にありがとうございました。これまで支えてくださった全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



2016年度本科卒業生 鎌田和 (No.286)

小学校2年生から始めたバレエ。そして3年前、宮下バレエにきました。卒業生になって淡々と踊る自分と向き合い、技術だけでなく表現の部分でもまだまだ足りないことだらけでとても苦労しました。パートナーリングではレッスンで注意されたことをよりわかりやすく実感したくさんの課題を見つけることができました。一緒に練習しているみんなと一番近くで踊りをみていい刺激になり、お互いアドバイスし合ったり少しずつだけ自分の変化を感じれたことは大きな自信になりました。本番では今までで一番の表情で踊りきれたと思います。どんな時も乗り越えて支え合った5人と出会えたこと、一緒に卒業の舞台で踊れたことがとても嬉しいです。そして私とバレエ中心の生活を過ごしてくれた家族、細かく厳しくたくさんのお話を教えてくださった照予先生、いつも素敵な言葉をくださる喜久子先生、お世話になった先生方、本当にありがとうございました。大好きなバレエを大好きな宮下で踊ることができて幸せです。

【母より】

小学1年生の時、スケートを習いたいと言いだした娘にスケート教室を探したところ滋賀にはなく、バレエから始める事にしました。それから11年…。他の習い事は全部やめてしまい、何よりもバレエ優先で、バレエ一筋でやってきました。でも3年前、色々な事があり、バレエを辞めるか続けるか悩んでいた時、宮下バレエ学園の見学へ行き、もう一度バレエを始める事にしました。葵先生や学園のお友達に会い、バレエを踊る楽しさを思い出し、またバレエが好きになりました。兄のデザインした衣裳で笑顔でオーロラ姫を踊っている娘の姿を見て涙が止まりませんでした。宮下バレエの皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



スケジュール

2016年

- 9月10日(土) 学園創立記念日
- 9月25日(日) 大人のためのバレエ教室第8回発表会(京都市呉竹文化センター)
- 10月15日(土) 学園父母の会役員会(キャンパスプラザ京都)
- 11月20日(日) ロームシアターオープニング事業「深川秀夫版 白鳥の湖(全幕)」

2017年

- 3月19日(日) 第15回京都バレエ・ブリランテ(京都こども文化会館大ホール)
- 7月30日(日) 宮下靖子バレエ学園 卒業卒業修了記念発表会(ロームシアター京都)

休職のお知らせ

- ◆ 伊東 葵 8月末にて休職しました。

学園だより

宮下靖子バレエ学園

秋号(2016.9.10)

おかげさまで  
宮下靖子バレエ団・学園も  
今年で創立63年目を迎えました

これまで以上に  
子どもから大人まで  
バレエを楽しんでいただける  
環境をつくり続けていきたいと思ひます

これからも宮下バレエを  
どうぞよろしくお願いしす